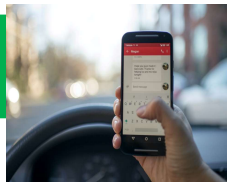
サル痘（MPOX）と診断された方や感染が疑われる方へ

あなたが接触者へ知らせるときに困ったら



あなた自身がサル痘と診断された場合、接触者がサル痘にかかった可能性があることをできるだけ早く知らせて、サル痘の症状（発疹、リンパ節の腫れなど）に注意し、検査を受け、症状がある場合は隔離できるようにすることが重要です。

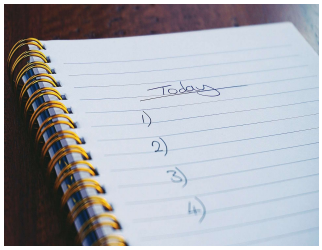
なお、過去14日以内に接触した方で無症状の方は、研究に参加する枠組みがあります。サル痘のワクチン接種は感染した場合に、発症を抑えたり、重症化させないために最も有効な手段です。接触者に知らせることで、その人とその周囲の人を守ることができます。

接触者とはどんな人ですか？

あなたにサル痘の症状が出始めてから、次のような行為をした相手

- オーラルセックス、アナルセックス、または膣内セックスを含む性交渉
- あなたに触れた、あなたの体の発疹に触れた
- ハグやキス、マッサージ、至近距離での会話など、長時間のスキンシップをした
- 食器、タオル、衣類、寝具、毛布、その他の物や素材をシェアした

知らせるべき接触者のリストを作る



1. セックスパートナーは誰ですか？
2. 一緒に住んでいる人（家族、同居人、泊まり客も含む）は誰ですか？
3. 最近、長時間にわたって肌と肌を接触させた相手は誰ですか？

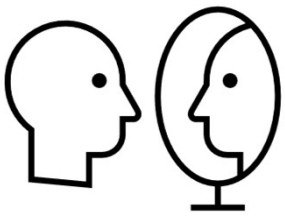
例えば・・・

- 対面式の会合や集会に参加しましたか？
- 最近、レストランや飲み会、ダンス、運動、パーティーなどで新しい人に会いましたか？
- 一緒にコンタクトスポーツをしましたか？
- 歯科を含む病院や整体やリハビリなどに行きましたか？
- その他のサービスで出会った人はいましたか？例えば、保育士、ハウスクリーナー、理容師、美容師、ネイルサロン店員、マッサージセラピスト、介護士など。
- 自宅以外で一緒に働いている人、またはボランティアをしている人はいましたか？

伝えるコツと準備

もし、接触者に知らせることに不安を感じているのであれば、事前に準備をしておくと、スムーズに連絡を取ることができます。以下のヒントは、役に立つかもしれません。

- 同じような状況で、もし自分が接触者だったら、どのように知らされたいかを考えておく。
- 安全性とプライバシーを考慮する。SMS、チャット、電子メール、SNS（LINEなど）の場合、他の人があなたのメッセージを読んでしまうかもしれないことに注意する。電話で通知する場合は、まず、相手がプライベートな話ができる場所にいるかどうか尋ねる。
- 声に出すことで、連絡する前に何をどのように伝えたいかを考えることができる。
- 相手のことを考え、どのような反応が返ってくるか、冷静に対応できるように準備しておく。



「こんにちは、大事な話があるんです。
個人的にお話したいことがあるのですが、少しお時間をいただけませんか？
私たちは[xx日]に一緒に過ごしたので、ご連絡しています。
私は、[xx月xx日]にサル痘と診断されました（陽性と判定されました）。
サル痘は誰でも感染しうる感染症で、密接な接触で感染する可能性があります。
発熱や水ぶくれなどの発疹など、症状がないか確認し、症状がある場合は病院やクリニックで早急に診察を受け、検査の相談をしてください。
厚生労働省のウェブサイト（www.mhlw.go.jp...../monkeypox）に情報が掲載されています。不安な時は最寄りの医療機関に相談してください。」

「また、感染拡大防止のための調査をするため、〇〇保健所からあなたへ連絡してもよいですか。保健所はあなたの体調の確認をし、ワクチンや感染予防策のアドバイスも伝えてくれると思います。そのときは、協力をお願いします。」

問い合わせ先

CDC. If You Have Monkeypox: Notifying Close Contacts.
https://www.cdc.gov/poxvirus/monkeypox/pdf/NotifyingOthers-InfoSheet.pdfを許可を得て、翻訳・一部改変したものです。
製作　感染症コミュニケーション円卓会議　第1版. 2022.12.06